

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 神戸保育会
施設名	元町キッズルーム
報告者（役職）	森下 律子（施設長）
住所・連絡先	〒650-0013 神戸市中央区花隈町8番19号
	☎ 078-335-6988
	E-mail Motomachi-kids@nifty.com

○タイトル（保育計画）

お部屋の中でも思いっきり体を動かすよ

○主な助成備品

タイニートット（ソフトマット） ターンテーブル 回転ディスク きらめきロッド
歯車ガタゴト

1. 保育計画策定の目的

小規模保育施設である当園には園庭がなく、園周辺の公園や広場へ出掛けるよう日課を組んでいます。悪天候が続き戸外へ出かけられず、室内で過ごす日が続いたり、保育園の園庭とは違い、近隣の公園では中々発達にあった遊具が無かったり、0歳クラスの子どもたちが体を動かせる広場も少なく、室内で十分に体を動かし体幹を鍛えられるように選びました。

2. 具体的な実施内容

各クラスの粗大遊びのコーナーに合わせて、設定し部屋で過ごす時間に、子どもたちが遊びの中で自然に使えるよう環境を作った。数に限りがあるタイニートットなので、子どもたちの遊んでいる様子を見ながら、職員同士が話し合い、入れ替えていくようにした。

1歳クラス2歳クラスは雨がが続くと戸外へ出かけられない日が続くとクラスを広げてスペースを作り、体を十分に動かせるように、タイニートットやマット、机を組み合わせでミニサーキットを設定している。

<0歳クラス>

ハイハイで登れるようにスロープと階段と配置した。



<1歳クラス>

トランポリンを挟んでスロープを両端に配置した。



<2歳クラス>

高さのあるマットと低いマットを組み合わせ配置した。



3. その成果と評価



スロープをしっかりとハイハイで登る



鏡に映る姿を楽しむ



歩行が主になっている子もハイハイができるトンネル。

1歳2歳合同 サークット



高い所からジャンプ



手をしっかりとついて登る。



楽しいので、繰り返す。

部屋のコーナーにあることで、いつでも子どもたちが使えた。

0歳児クラスでは、ずり這いや、四つ這いをしないで、つかまり立ちをしたがる子が多くみられていましたが、這って遊べるマットがあることで、自然とずり這い、四つ這いの時間が増え、また、歩行が始まっている子どもも、なみなみのマットの上を歩くことで、体幹も鍛えられた。

1歳クラスは、運動することに興味のない子も多く、活用することが少なかったが、色々と組み合わせを変えたり、2歳クラスと一緒に活動をしたことで、興味を持ち活用することが出来た。活用することで、歩行する時に、しっかりと歩く姿がみられるようになった。

2歳クラスは高低差を付けた組み合わせ、足をしっかりあげて登ることや高い所から飛ぶ楽しさも知ることが出来た。

子どもたちの「やってみたい」と思う気持ちに、職員が気づき、発達にあったレベルと合わせて活用することで、子どもたちが、自分で何度も繰り返し楽しめた。

4. 今後の課題と展望

0歳クラスで、しっかりとずり這い、四つ這いを経験できるようにタイニートットを上手に使い発達に応じて子どもたちが自然に身につけられるような環境づくりを考えていきたい。

限られた保育スペースなので、粗大遊びだけでなく他のコーナーの確保も考え、事故やケガにつながらないように十分に気を付けることも重要である。

以上